

「一の引きようで…」他雑記4題

JJ1SXA/池

一の引きよう…

「片仮名の『ト』の字に『一』の引きようで、上になったり下になったり」という言葉がある、また、辛(つら)いという字は、もう少しで幸せになれるような字である。

心が折れそうな時に思い出すと良いのでは無いか、人間辛い時、辛い事が多々あるが、そういう時には、発想の転換が必要であり、重要だ。

とは言うものの、発想を転換するのは簡単では無い、かなり難しいことだ、その辺は、凡人の凡人たる所以か。

無線の運用は高所で

「絶頂で 天下の見えぬ 霧の海」と言う川柳の一句がある、また「実るほど頭を垂れる稲穂かな」という言葉もある、どこかの党の新代表はこの句を良く味わうべきだろう。

無線の運用では、谷底より絶頂の方が絶対有利だ、まあ高ければ良いというものではない場合もあるが、低所より、下は霧の海でも高い場所の方が良いだろう。

QWERT配列

QWERTは、一般的なキーボードの配列だが、モールス信号は、印刷所の活字の数が多い、つまり良く使われる字に短い符号を割り当てたのとは対照的に、タイプライターが壊れにくくするため、考えられたのがQWERT配列のようだが、ベテランはそんな事には関係無くブラインドタッチで高速タイプしている。

A1グランプリ

今年のハムフェアでは、「CWの里」のブースで、CWの早聞き(受信)、縦ぶれキーでの送信を競うA1グランプリが行われた。

送信部門の入賞者はどのくらいの速度で打鍵したのだろうか、知りたいものです。

打ち言葉

日本語の世界では、従来「話し言葉」「書き言葉」と使い分けをしてきましたが、最近「打ち言葉」というジャンルが登場しています、良く使われているものを一部ピックアップして見ました。

うp(アップロード)、おk(OK)、乙、おつ(お疲れ様)、チラ裏(チラシの裏にでも書いておけ)、ググる(googleで検索する)

こんな用語がスマホのLineで乱れ飛んでいるようです、年寄には、難しすぎてチンプンカンプン、わかるのは、「ググる」位です、日本語の乱れなどとぼやいても、これらの言葉が通用しているのが現実、「うp」や「おk」は想像できるが、「チラ裏」になると教えてもらわないと全くわからない、他にも、JS(女子小学生)、JC(女子中学生)、JK、(女子高生)、JD(女子大生)なども使われているようだ。

尤も、ハムにしかわからないQ符号や、YL、OM等の一部を除いて、CWをやる者にしかわからない略語もあるが、こちらは日本語ではない、世界共通のハム用語だ。